

# ICT活用工事の積算・工事成績評定における措置について

---

本参考資料は令和8年度ICT活用工事実施要領（北海道独自運用含む）の要点を工種ごとにまとめたものです。

詳細については各実施要領をご確認ください。

## R8.4.1

北海道開発局 技術管理課 技術調査スタッフ

全面活用型(①～⑤)、ステップアップ型(①、③～⑤)、ファーストステップ型(①、④、⑤)を活用

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する ※ステップアップ型、ファーストステップ型 単点計測技術	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建機による施工、3次元出来高管理を行うため、3次元設計データを作成する	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機※にて施工を実施 ※(1)全面活用型 3次元MCまたは3次元MG建設機械 (2)ステップアップ型 2次元MG建設機械	計上	精算
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理、品質管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法にあり	—	3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しない
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	

#### 工事成績評価

- ・加点措置は行わない。
- ・受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- ・施工現場の環境条件等により、ICT施工技術の活用が困難な場合は、受発注者協議により実施項目(①～⑤)の変更を行う。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建機による施工、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	計上	精算
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理、品質管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	【土工、砂防土工、河床等掘削】 提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

- ・ 加点措置は行わない。
- ・ 受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- ・ 施工現場の環境条件等により、ICT施工技術の活用が困難な場合は、受発注者協議により実施項目(①～⑤)の変更を行う。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	起工測量(選択)	起工測量を必要とする場合は、従来手法による起工測量を原則とするがICT土工等で取得した3次元起工測量データがある場合は積極的に活用する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	(ICT建機による施工の場合) 3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建設機械による施工を行うため、3次元設計データを作成する	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	—	計上
④	—	—	—	—
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①(作成していれば)、②)を工事完成図書として電子納品する	—	

## 工事成績評定

- ・①(選択)、②、③、⑤の全てを実施:1点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

ICT土工等における関連工種とするため、ICT活用工事(土工)実施要領による。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

- ・①、②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①、②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

- ・①、②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①、②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建機施工、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	—	計上
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	—	— (補正係数を乗じない共通仮設費率、現場管理費率に含まれる)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	
作業日当り標準作業量の補正			—	工法に応じた補正係数を乗じる。
単価表の補正			—	工法に応じてICT建設機械経費加算額を加算する。

## 工事成績評価

- ・①～④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①～⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法にあり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

- ・①、②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①、②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建機施工、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	計上	精算
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法にあり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	
浚渫能力の補正			—	バックホウ浚渫船1時間当たり浚渫量に補正係数1.05を乗じる。
単価表の補正			—	ICT建設機械経費加算額を加算する。

## 工事成績評価

- ・加点措置は行わない。
- ・受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- ・施工現場の環境条件等により、ICT施工技術の活用が困難な場合は、受発注者協議により実施項目(①～⑤)の変更を行う。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計	
				精算	発注者指定型
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)	
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、ICT建機施工、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—		
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	計上	精算	発注者指定型
			—	計上	施工者希望型(I・II)
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)	
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—		
			※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1		

## 工事成績評価

- ・①～④のいずれか1つ以上を実施: 1点加点
- ・①～⑤の全てを実施: 2点加点
- ・発注者指定型、施工者希望 I 型: 受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- ・施工者希望 II 型: ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	発注者から貸与する3次元測量データ(地上移動体搭載型レーザースキャナー等を用いたデータ)を活用することを基本とする。 なお、必要に応じて受注者が3次元測量データを取得する場合又は発注者から起工測量に代わる3次元測量データを貸与できない場合は、受注者が必要な測量を行うものとする。	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	①で計測した測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、施工指示に用いる切削計画を作成する。	—	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ(②)を用いてICT建機にて施工を実施	—	計上
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	—	—
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	(補正係数を乗じない共通仮設費率、現場管理費率に含まれる)
単価表の補正			—	工法に応じてICT建設機械経費加算額を加算する。

## 工事成績評定

- ・①～④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①～⑤の全てを実施:2点加点
- ・施工者希望Ⅰ型:受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- ・施工者希望Ⅱ型:ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	-	-	-	-
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	-	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
③	-	-	-	-
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	-	-
⑤	3次元データの納品	3次元データ(②、④)を工事完成図書として電子納品する	-	-

## 工事成績評価

- ・②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評定

- ・①、②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①、②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元設計データの作成に必要な起工測量を実施する	—	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ(①)と発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する	—	
③	—	—	—	—
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象とならない出来形管理方法あり	—	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 (見積の提出無き場合は未計上)
⑤	3次元データの納品	3次元データ(①、②、④)を工事完成図書として電子納品する	—	※補正係数 ・ 共通仮設費率補正係数: 1.2 ・ 現場管理率補正係数: 1.1

## 工事成績評価

- ・①、②、④のいずれか1つ以上を実施:1点加点
- ・①、②、④、⑤の全てを実施:2点加点
- ・ICT活用未実施による減点はなし。